



**第1回臨時会（初議会）** H27.5.7

引き続き総務文教常任委員会の委員長に選任されました。全力で職責を果たします。また、筑慈園施設組合議会の議員、文化スポーツ振興財団の評議員に選出されました。初めてのポジションですが積極的に取り組んでまいります。

**6月議会（定例会）** H27.6.3～H27.6.24

芦刈（新）市長から平成27年度の施政方針が示されました。以下要旨です。

- ❖ 市役所の意識改革を進める。 ❖ 指定管理者選定の形を十分に検討していく。
- ❖ 体育複合施設は予算の増額が見込まれる中で工事を進めている。7月に説明会を行う。
- ❖ 小中学校の普通教室及び使用頻度の高い特別教室にエアコンを設置する。
- ❖ 中学校完全給食の導入に向けて、教育委員会と協議を進める。
- ❖ 水城跡東門周辺の広場整備、ガイダンス施設整備、地形復元に取り組む。

議案の概要と議決結果は以下の通りです。 ※公平委員会 → 職員に対する不利益処分等を審査する独立機関

- ◆ 筑紫公平委員会委員の選任 ⇨ 同意 ◆ 路線認定（水城団地43号線）⇨ 可決
- ◆ 推定客館地区整備検討委員会設置 ⇨ 原案可決 ◆ 持家手当の段階的削減 ⇨ 原案可決
- ◆ 旧3級品の製造たばこに関する税率を段階的に引き上げ ⇨ 原案可決
- ◆ 市長報酬額削減（議案第50号）⇨ 否決 ◆ 地域包括支援センターの移転他 ⇨ 原案可決
- ◆ （補正予算）8億674万円を加え一般会計予算総額を248億8,093万円とする ⇨ 原案可決
- ◆ 26年度国保会計の歳入不足10億5,638万2,476円の繰り上げ充用の専決処分 ⇨ 承認

市長給与の減額（議案第50号）は賛成6、反対11で否決されました。市長の公約であり、選挙の結果、市民の意思であると考えられることから、私はこの議案に賛成しました。

ただ、市長は激務であり近隣市や県内を見ても給与額にほとんど差はないこと、また減額により副市長等の給与額にも影響があることなど、反対側の理由も十分理解できます。

この他、議員発議により4つの特別委員会が設置され、私は政治倫理条例制定特別委員会の委員長に選任されました。各委員と力を合わせ実効性のある条例制定をめざします。

国民健康保事業（議案第53号）については平成20年度に後期高齢者医療制度が始まったことなどから赤字が続き、今回累積赤字が10億円を超えました。毎年度、翌年度の財源からその不足分を繰り上げ充用する処理をしていますが、平成30年度から財政の運営責任主体が県に移行されます。それまでに累積赤字について削減できるように、他市が行っている法定外の繰り入れなども含めながら検討していきたいと、執行部の説明がありました。

## 一般質問(代表質問)

会派:真政会を代表し、7項目について質問しました。

質問の概要	市長の回答(要旨)
<b>配食サービス事業について</b> 弁当の積み替え場所が衛生面、労働環境ともに問題があるので改善を求める。	皆様に不安を与えることがないように、現地の簡易舗装を行うとともに、より良い積み替え場所として公共施設などの利用を検討します。
<b>コミュニティ無線について</b> 晴天時ですら聴き取りにくいという問題は解決したのか。今後も増設する方針なのか伺う。	本年度予定の15箇所増設で一定の整備を終わる。電話やFAX等へ直接情報を伝える災害情報システムなど様々な形で情報確保に努めます。
<b>溜(ため)池周りのフェンス設置について</b> 溜池で侵入防止のフェンスが設置されていないところもあるが、今後の計画を伺う。	子供たちの遊び場所となる可能性がある個所や住宅に近い溜池から優先的に、フェンスの設置を進めていきます。
<b>松川ダムについて</b> 松川ダムは長年の土砂流入でかなりの部分が湿地状態であり、近隣住民は悪臭や蚊の大量発生に苦しみ、改善を訴えている。	地域周辺の皆様方には大変申し訳ない。 本年度にダムの堆積測量調査を行い、その成果を基に浚渫工事の判断を行いたいと考えているので、ご理解願います。
<b>体育複合施設の工事価格について</b> 契約額は税込みで27億9,720万円だが、これ以上増えるようなことはないのか伺う。 <b>【回答を受けて】</b> 体育複合施設新築工事請負契約の締結については、昨年の11月臨時議会で可決・承認(賛成9:反対7)されました。ところがこれには施設として不可分(一体)である、空調設備、移動観覧席、雨水ろ過設備が入っていません。これらの合計額は3億円を超えるといえます。なぜ必要なものを外して提案、契約したのかと言えば、(私の考えですが…)入れると工事費だけで30億円を超えるからです。用地費等を含む総事業費では35億円を超すからです。ただでさえ不急不要、財政の圧迫を懸念されているところに、金額がそれぞれの大台を超えるとなれば、市民も議会も、より反対の声を強めたでしょう。そこでこの部分を外して、表面上は27億9,720万円で議会を通し契約を済ませ、後(再選後)から追加工事として提案し、補正を組む段取りだったのだと考えます。このことに関しては芦刈新市長の責任はありません。芦刈市長は市議の時から一貫して同施設の建設に反対しています。しかし回答にもあるように市長として「現実」に対応していく中で、苦渋の選択として体育館建設を続けると表明しておられ、またトリックともいえる追加工事についても、活用計画、運用計画を基に検討し無駄がないよう適切に進めていくと述べています。ここまできたらもう後戻りはできません。前向きに最大の活用と効率的な運用をめざしていただきたい。	庁舎内でいろいろな議論をしたが、その結果工事の進捗は、施工者における下請け等への発注が既に5割を超えており、工事を中止するのは現実的ではなく、また建物の用途を変更するにしても、既に設置している基礎構造が大型空間としての設計になっており、他の施設への変更も困難であることが分かった。 またアリーナの空調や移動観覧席など、施設の活用にあたって不足している設備があることも事実であり、これらについては策定を急いでいる活用計画、運用計画を基にその内容を点検、精査しながら無駄がないように適切に建設を進めていきたい。なお別途議会に説明する機会を設けるとともに、市民説明会も開催するので、ご理解ご協力をお願いします。
<b>老朽化に伴う改修について</b> 国分小学校の体育館は10年以上前から雨漏りが続いている。利用時の転倒や床板の腐食、歪みが懸念され、各種行事等にも支障が出ている。補修の予定について伺う。	この体育館は築32年を経過しており、問題を解消するには全体的な屋根の防水工事をやり直す必要がある。国の交付金を活用した大規模改造工事により抜本的な改修を行いたいと考えており、平成30年前後に実施の予定です。
<b>情報通信技術の推進について</b> 専門の部署を設けるべきだと考えるが、市長のご所見を伺う。	全庁的な調整支援を文書情報課が担う体制を維持し、将来的に専門職員を充足して強化を図っていくことが望ましいと考えます。

詳しくはホームページ→ [f-icq.com](http://f-icq.com) または

**議会報告会のご案内** 7/21(火)18:00～ 国分公民館2階

※1時間程度を予定しています。ぜひご参加ください。